

# 平成 28 年度 一般廃棄物最終処分場事業に係る測定状況

## 黒羽グリーンオアシス

### 放流水測定結果（抜粋）

測定項目	単位	基準値	放流水値（年平均値）
水素イオン濃度（PH）		5.8～8.6	7.4
生物化学的酸素要求量（BOD）	mg/ℓ	60	2.2
化学的酸素要求量（COD）	mg/ℓ	90	16.0
浮遊物質（SS）	mg/ℓ	60	<2.0
全窒素	mg/ℓ	120	10.3
大腸菌群数	個/c m <sup>3</sup>	3,000	<30

※基準値は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づく。

### 放流水中のダイオキシン類測定結果

測定項目	単位	基準値	測定値（毒性等量）	
			H28年6月17日	H28年12月16日
ダイオキシン類	pg-TEQ/ℓ	10	0.000030	0.000042

※基準値は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づく維持管理基準を定める命令に基づく。

（ダイオキシン類対策特別措置法に基づく基準は 1pg-TEQ/ℓ以下）

## 【用語解説】

### 水素イオン濃度 (PH)

溶液中に存在する水素グラムイオン数を意味する。

強酸、強アルカリは水中の生物に影響を及ぼす原因となる。

### 生物化学的酸素要求量 (BOD)

汚水中の有機物が好気性微生物の生物化学反応によって分解される際に要する酸素消費量。(20℃下で5日間に消費する酸素消費量)

汚染度の尺度とされ、BOD 値が高いほど、その水中には腐敗性物質が多く、溶存酸素を消費することから、水中の生物に影響を及ぼす原因となる。

### 化学的酸素要求量 (COD)

水中の有機物が酸化に要する酸素量。

有機物含有量による汚染度の尺度とされ、BOD 値同様、この値が高いほど溶存酸素を消費することから、水中の生物に影響を及ぼす原因となる。

### 浮遊物質 (SS)

水中に懸濁している有機性及び無機性の不溶物。

河川に汚泥床を形成し、懸濁物質が有機物である場合、腐敗して水中の溶存酸素を消費することから、水中の生物に影響を及ぼす他、植物の光合成が阻害される。

### 全窒素(T-N)

窒素を含む化合物の総称。

窒素過多は農作物の生育に対して悪影響を与える。

### 大腸菌群数

大腸菌群の個数を示し、水、食品の安全度の指標となる。

大腸菌は、通常人畜の腸管内に生息しており、これが水中に存在することは多くの場合、その水が人畜のし尿などによって汚染されていることを意味する。

### ダイオキシン類

有機塩素化合物の一種。

ポリ塩化ジベンゾーパラジオキシン (PCDD) や、これと類似した性質を持つ有機塩素化合物をダイオキシン類と呼んでおり、それぞれ毒性が異なる。

毒性の強いものはヒトに対する発がん性があり、また、環境ホルモンとして作用し、生物の生殖器官に影響を与える。

ダイオキシンは、塩素が完全に燃えきらない低温焼却によるごみ焼却炉や、過去に使用された農薬に多く含まれていたことがわかっている。